

# ニュース

第219号

発行日 令和4年1月20日  
 発行者 社会福祉法人 みのり会 中台育心園 園長/千葉桂資  
 〒311-2213 茨城県鹿嶋市大字中431-20  
 電話 0299 (69) 2222  
 FAX 0299 (69) 2237  
 ホームページ <https://nakadaiikushinen.jp/>

## 今月の生活目標

### 【单元】

- 新しい年を迎えて
- 冬のくらし

### 【目標】

- 新年を迎え、成人としての自覚を新たにし一年間しっかりと過ごす心構えをつくりましょう。
- 冬を健康に過ごすための基礎的な知識や技能を身につけましょう。

## 「様々な研修に参加して」

健康管理主任 内田郁江

コロナウイルス感染症が流行してからは、施設内でオンラインでの研修がほとんどになっていきます。

施設での看護師の研修では、主に感染症等についての内容が多いと思いますが、「先日「臨床死生学」という研修に参加しました。これまで、臨床死生学についての研修は少なく、あまり知られていなかったようです。

臨床死生学とは、生と死、命について考えていく学問のことです。死については、あまり考えたくはない事ですが、命のサポートをしていくためには、自分の死生観をしっかりと持つことが大切と分かりました。

生と死は共存し、関係していること、縁が切れるわけではなく、心は通じ合っていること、悲しみを他者へ語りつくすことによって、その方と出会えたことへの喜びへと変化していくことが、とても印象深い内容でした。

臨床死生学という研修に参加してみて、難しいと思う部分もありましたが、この研修で得た知識を生かし、利用者さんの生活をサポートする看護に役立てていきたいと思えます。

コロナウイルス感染症が流行してからは、感染症に対する知識を深めるため、これまで多くの研修に参加してきました。

研修で得た知識を生かし、感染症委員会の活動にも取り組んでいます。職員への内部研修では、防護服着脱の実演と、嘔吐物処理の実演を行いました。また、実際に感染した場合を想定してのシミュレーションを実施し、感染症予防対策に取り組んでいます。

様々な感染症について、しっかりと基本的な感染対策を理解しておくことが大切です。基本が身につければ、様々な感染症に対応することができそうです。

これまでの研修で習得したことを、他の職員にも分かりやすく伝達し、今後も皆で感染症を持ち込まないための対策をしっかりと行っていきたいと思えます。

今後も知識を深め、より良い看護へとつなげていけるよう、努力していきたいと思えます。



勤労感謝祭

## 防災意識を持つ

生活支援員 井関秀一

今日の日本は災害大国ともいわれるほど、多種多様な災害が発生する国とされています。世界の陸地に上陸する台風は、年に約38回と言われ、その内日本に上陸する台風は年に約4回とされています。割合でいうと10%超は日本に上陸している計算です。地震に関しては、100年間の統計をみるとM6以上の地震は世界で平均年115回起きています。そのうち、日本では平均年17回と、M6以上の地震の15%が日本で発生しています。ちなみに日本の面積は、世界の面積の40分の1であり、この0.25%の国土面積に、地球上で発生する自然

災害の割合が集中し起きています。頻繁に自然災害が起こるかどうかではなく、いつ生じるかを考えて対策をとることが重要です。

ところが近年は、相次ぐ想定外の自然現象と災害が発生しています。東日本大震災では、地震により大津波、原発事故が発生しました。地震、大津波、原発事故、それぞれの災害に対して想定はされていませんが、同時に発生するとは思いませんでした。2019年の台風19号では14箇所の堤防が同時に決壊。ひとつの台風がこれほど多くの河川を同時に決壊させるとは想定しておらず、未曾有の災害となりました。マニュアルの中にも様々な災害でとるべき行動や手順が示されています。しかし、シチュエーションが変わればマニュアル通りにいかない場合があります。夜間等、職員数が少ない時間に起きた場合はどうか、天候が悪い場合は機能するか、建物や道路状況で避難が可能か等、想定できる状況下でもマニュアル通りにいかない状況が多く考えられます。

災害大国の日本で暮らす以上、様々な災害に対応できるようシチュエーションを変えながら準備をしていく重要性和、一人ひとりが防災意識を高めていく必要性を持ち、業務継続計画の策定、訓練や研修を通して、防災に対する意識の向上を目指していきたいと思えます。

## クリスマス会の様子



フィナーレ



☆クリスマスディナー☆



今年も仮装しました！

## 事務所だより

事務主任 日向寺幸子

日本時間の令和3年12月8日、実業家の前澤友作さんはロシアの宇宙船に搭乗して打ち上げられ、日本の民間人として初めて国際宇宙ステーションに滞在し、およそ12日間100のことにチャレンジしながら宇宙旅行を行っていましたがニュースになりました。金持ちの道楽と批判する方もいるようですが、「前澤さんは、子供のころからの夢を叶えられた。努力すれば夢は叶う。」と言っていました。人類が初めて月面着陸した1969年から52年。半世紀後には、宇宙旅行も実現できるところまで来ていることに感動しました。

### 令和3年度

#### 家族ふれあい会自粛のお知らせ

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、毎年恒例となっております家族ふれあい会は、今年度も利用者者と職員で行うことにいたしました。大変勝手ではございますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今、世界中がコロナ禍の中、国内では新規感染者数も減少し始め、第6波に備えながらも、国内の経済を回すためにあの手この手と策を講じている状況の中“ほっ”とする間もなく南アフリカにおける感染力の強いオミクロン株が出現し、帰国者の中から少しずつ感染者が広がり始めてきていることに不安を感じています。

そんな中、中台育心園では利用者さんに余暇の時間を少しでも楽しんでいただきたく、今年度も昨年同様、園内行事を縮小して行ってきました。ご家族の皆様も行事の参加や面会・帰省など待ち望んでいらつしやるかと思いますが、職員一同「感染しない、感染を広げない」努力を継続しております。「コロナウイルスも生きていくために人間を死なせない。」と話している大学教授の方もあります。樂觀視してはいけません。人類の進歩は目覚ましいものがあります。過去にも幾度の危機や困難を乗り越えて今に至ります。思い描いていた夢物語を実現できる力があります。

今日よりも明日。明日よりも明後日。一步一步前に進んでいます。「努力すれば夢は叶う。」きつと、近いうちにコロナも収まり、ご家族の皆様とお会いできる日がやってきます。それまで、もうしばらくお待ちください。

# グループだより

## ★ひまわりグループ 「成長した姿」

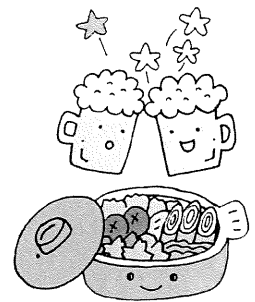
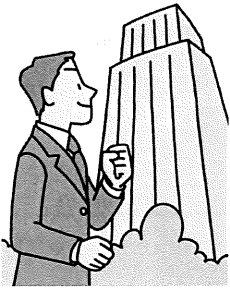
川尻さんは、いつもやる気に満ち溢れています。

掃除の担当は廊下の拭き掃除ですが、時間いっぱい手を休めることはありません。洗濯の声かけがあると真つ先に立ち上がって洗濯室に向かいます。食事の移動でも皆の先頭に立って歩いています。

川尻さんは入所されてから10年以上経ちますが、初めて当施設に来たときは慣れていない場所への不安もあったのか、とても消極的で皆の後ろで静かに座っていることが多い印象でした。しかし、今ではグループの中堅として日々の日課でもグループ活動でも皆を支えてくれる存在になっていきます。

何事にも真面目に取り組む川尻さんの姿は、グループの若手にとっても良いお手本になっていると思います。

〈千代田〉



## ★すみれグループ 「すみれのアイドル&親子・・・」

朝、起きると、皆が集まってきます。ご飯を食べている時は「ご飯食べてね」「おいしい？」と、入れ替わりで皆さんからエールが届きます。吉成さん、村田さん、辻さんは自分の席に座りながら、いつも微笑ましく見守ってくれています。移動するたびに皆から「かわいいね」と声をかけてもらい、笑顔で「エへへ」と答えているのは我らがアイドル♡池田友子さんです。そんなすみれのアイドルをいつも側で母親のように見守ってくれているのが矢代さん。矢代さんは、朝から夜まで「池田さん」「友子さん」と声をかけながら面倒を見てくれています。時には優しく、時には厳しく・・・(笑)。そんな二人の関係性をいつも「親子みたいだなあ」と思いつながら微笑ましく見守ってしまっています。これからも仲よく過ごしていきたいと思います。

〈入江〉

## ★なでしこグループ 「クリスマス会」

12月16日、クリスマス会が開催されました。残念ながら私は参加する事はできませんでしたが、朝からなでしこグループは大盛り上がり！煮込みハンバーグが出るの聞いていた久保田さんは周囲の仲間「ハンバーグが出るよ！」大喜びで教えてくれていました。中川さんは「サンタさんは来る？」と興味津々！山中さんはお友達の様子を見て一層楽しそうな表情に。大足さんと柴田さんは「余興やダンスはあるの？」と目をキラキラ。そんな様子を小沼さん、野口さん、小野口さんは遠くから目を細めて微笑みながら見ていました。後日、クリスマス会の感想をたくさん聞くと、とっても楽しかったようです。参加していない私までも楽しい気持ちになりました！

〈兼子〉

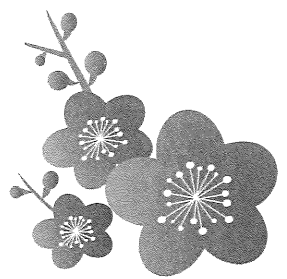


仲良し♡

## ★あざみグループ 「紳士な皆さん」

あざみグループの皆さんは、何も言わずにお手伝いをしてくれる優しいジェントルメンです。まず、我等のリーダー坂本さんは、ディルムの掃き掃除をするところから朝が始まります。お友達の食事を率先して運んでくれるのは島村さん。気付いたら落ちていたゴミを拾って綺麗にしてくれるのが柳堀さん。ゴミ袋を運んでくれるのは大野さん。特にレデイには重たい物を運ばせないよう気遣いをしてくださいます。毎食の配膳車を通る度、そっとドアを開けてくれるのが菅谷さん。装飾を作っている、ホチキスを止めに来てくれるのが石田さん。暖房の空気が出て行かないようにドアを閉めてくれるのが竹添さん。不要になった段ボール処理をしてくれるのが湖林さん。夕方、安全のためにパトロールをして鍵を閉めてくれるのが平間さん。素敵な紳士達、いつもありがとうございます。

〈豊田〉



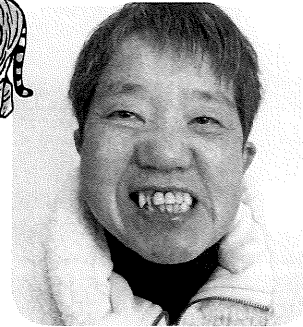
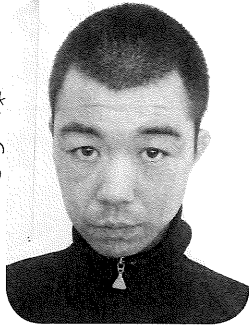
# 令和4年 年男・年女



平間尚輝さん

倉嶋素明さん

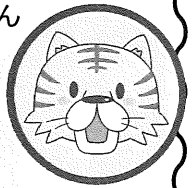
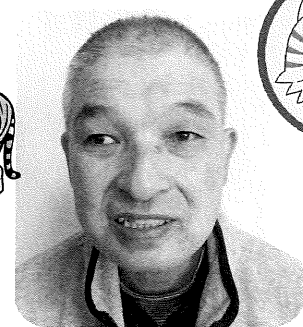
藤岡美智子さん



石田直也さん

小野口由美さん

星野敏行さん



## 跡 跡 跡

【11・12月】

【寄附・寄贈】

- ▽白石成子様
- ▽福栄茂子様
- ▽高木登代一様
- ▽倉嶋恵美子様
- ▽竹添幸弘様
- ▽飯塚薫様
- ▽羽生明義様
- ▽橋爪八重子様
- ▽島田久夫様
- ▽池田洋様
- ▽野口りつ子様
- ▽大同西小学校様
- ▽小沼恒寿様

【来園者】

- ▽白石成子様
- ▽小堀幸子様
- ▽横田裕樹様
- ▽渡邊様
- ▽坂寄様
- ▽日立綜合防災様
- ▽高坂防災
- ▽設備点検
- ▽富馬様
- ▽島更生園
- ▽こ 関口由美様
- ▽ス館
- ▽務所
- ▽鹿嶋市生活福祉課
- ▽航太様
- ▽様
- ▽智子様
- ▽弥生様
- ▽片岡様
- ▽永光
- ▽バートナー
- ▽会計指導
- ▽消防設備点検
- ▽スプリンクラー
- ▽池田様
- ▽AED講習
- ▽鹿
- ▽ひなたぼっこ
- ▽見学
- ▽コスモス
- ▽横松建築設計事務所
- ▽打ち合わせ
- ▽石野
- ▽石山
- ▽玉川徹様
- ▽杉崎け
- ▽宮内
- ▽稲敷市社会福祉課

【11・12月誕生者】

- ▽矢代順子さん
- ▽吉成セツ子さん
- ▽篠田純一さん
- ▽本谷竜久さん
- ▽飯島あゆみさん
- ▽芳野恭子さん
- ▽山中圭子さん
- ▽横山稔修さん
- ▽柳堀聡さん
- ▽茂木カツ子さん
- ▽吉崎敏彦さん
- ▽高木紀彰さん

## 編集後記

令和4年がスタートしました。今年には寅年。生まれたものが成長する年でもあると言われていきます。昨年は嫌というほどコロナ、コロナ、コロナ・・・。当たり前前の生活がこんなにも幸せな事であったと誰しもが実感した年でした。苦しい中でも生まれた種は、どんな花を咲かせるのでしょうか。個人的には、遠い海の向こうで見事な大輪を咲かせているエンゼルス大谷選手の更なる活躍を期待しています！  
 〈エビサワ〉

